

平成30年度 事業計画書

西神南あんしんすこやかセンター

1. ≪平成30年度法人ヴィジョン≫

- ①経営の強化
- ②教育システムの充実とサービスの質の向上
- ③地域社会に必要とされる法人

2. ≪基本方針≫

- ①介護保険制度をはじめとする市町村の介護・福祉行政の一翼を担う機関であることを認識し、公正中立な事業運営を行う。また、地域の特性や実情を常に把握し何事に対しても柔軟に対応をしていく
- ②職員相互に常に情報を共有し、互いの業務の理念・基本的な骨格といったものを理解した上で、連携・協働の体制を整え、地域包括支援センター業務全体をチームとして支えていく
- ③圏域の居宅介護支援事業所・介護サービス事業所・地域と密に連携をとり、地域包括ケアの充実を図る

3. ≪最終目標≫

「安心して暮らせる街づくり」

- ・介護を受ける事になっても、介護をする事になっても安心して暮らせる街づくりを地域の方々と共に行い、地域の福祉サービスの一翼を担っていく。

4. ≪目標≫

①相談対応の充実

A) 介護者支援の充実

介護リフレッシュ教室を年間6回（2ヶ月に1回）西神南センタービルにて開催。
在宅で介護をされている方同士で意見交換、情報交換を行い、お互いの悩みの共有を図る。
介護者同士の自助グループとして開催。

B) 地域力の向上

地域に対しての啓発の実施

- ・あんしんすこやかルームやL S A室と協力し、地域住民を対象とした福祉講座を開催。
あんしんすこやかセンターの啓発だけでなく、住民同士が支えあえる情報の発信を行っていく。
- ・圏域内の喫茶等、既存の集まりに対し、センターより最近の消費者被害の動向等のタイムリーなニュースを提供する様にし、高齢者が安全に生活できるよう啓発する。
- ・地域の住民に対し、ボランティアの発掘・養成・スキルアップを目的とした、講座や座談会を開催する。

C) 地域の関係者との連携

◆圏域の事業所やケアマネジャーとの連携

- ・年間3回、ニュータウン地区にある他の2つの地域包括支援センターと共催にてケ

- アマネジャー連絡会を開催。他サービスの事業所とも連絡会を開催し情報交換を行う。
- ・ 必要時、個別事例を用いた地域ケア会議を開催し、ケアマネジャー、サービス事業所、地域の関係機関が一丸となって住民を支える体制づくりを行う。

◆医療機関及び行政との連携

- ・ 圏域内の医療機関の情報をまとめ、情報をケアマネジャーに対して発信していく。
- ・ 区の認知症医療連携ワーキングに参加し、地域の方々がスムーズに入退院ができるよう、区内の有床医療機関との連携を強化していく。
- ・ 必要時、地域ケア会議を開催し、各機関との情報の共有に努めていく。

D) 相談窓口の周知徹底

◆地域住民への周知

- ・ 地域行事に積極的に参加し、センターの知名度を上げる。
- ・ 地域での介護予防講座や認知症サポーター養成講座を開催し、センターの啓発も行う。

◆職員の技術向上

- ・ 研修には適宜参加し、地域包括支援センターの職員としての資質の向上に努める。

E) 認知症事業の啓発

◆認知症サポーターの養成

- ・ 地域包括支援センター圏域内で認知症サポーター養成講座を適時開催する。
- ・ 井吹東児童館、井吹北児童館、井吹の丘児童館の小学生を対象とした認知症サポーター養成講座を開催できるようにする。

◆認知症支援の充実

- ・ 地域において認知症講座を開催し、寸劇等により分かりやすく認知症についての理解を地域に深めていく。

②介護予防の充実

A) 介護予防ケアマネジメントの充実

◆サービス事業所との連携

- ・ 利用者にとって有用なケアプランが立案できるよう、介護保険サービス事業所との連絡会を開催し、サービス事業所との「顔の見える関係」を構築する。

◆ケアマネジメントスキルの向上

- ・ 行政主催の研修に参加をする事は勿論の事、各事業所にて行われている勉強会には可能な限り参加をし、介護予防ケアプランの質を高める。
- ・ 直営担当の給付管理数、月160件を目標とし、安定した収入を確保する。

B) 介護予防事業への推奨

- ・ 総合相談や地域活動において把握した、支援が必要な方について、要支援認定申請や基本チェックリストを実施し必要な支援に繋げる。また、介護予防の取り組みが必要な高齢者等には、地域の一般介護予防事業等への推奨を積極的に行っていく。

③地域見守りの強化

A) 訪問活動の継続

- ・ あんしんすこやかルーム対象エリアの訪問を行い、居住されている方の実態把握をする事により、必要な方には迅速に介護保険サービスの提供を行う。
- ・ 圏域の独居高齢者・老老世帯の高齢者に対して民生委員や地域の団体と情報を共有し適

宜訪問をする事により生活実態の把握に努める。

B) 地域団体との連携

- ・民生委員やLSA等の関係者との情報交換を行い、地域に居住されている方の課題を探り解決に向けて協力していく。
- ・ふれあいのまちづくり協議会や地域の団体が主催している行事に積極的に参加をする事により、各団体との顔の見える関係を構築していく。

C) コミュニティ作りの充実

- ・地域でコミュニティサポート事業を開催し、住民同士の交流の場を作る。
- ・コミュニティ事業に協力をしていただける方を募りボランティアとして活用する。
- ・地域で行われている行事に参加をし、地域のコミュニティ作りのサポートをしていく。
- ・地域診断を行い、新たな集いの場の立ち上げのバックアップを行っていく。

④防災・減災への取り組み

- ・地域が開催する福祉避難訓練に参加し、地域での防災支援システムの構築に関してのバックアップを行う。
- ・地域の避難訓練等に市民救命士として参加を行う。
- ・防災センター（ビル管理会社）が開催する、年1回の避難訓練に参加する。

5. 《年間行事予定》

2018年度介護リフレッシュ教室・コミュニティサポート事業・あんしんすこやかルーム予定表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護リフレッシュ教室	○		○		○		○		○		○	
LSA福祉講座				○						○		
ボランティア講座				○					○			
クラシックいぶき					○							○
うたごえ喫茶	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
リハビリ体操	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
甘味処		○				○				○		
練功十八法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○介護リフレッシュ教室

在宅で介護をしている方が悩みを独りで抱え込まないように、介護者同士の交流の場として年間6回西神南センタービルにて開催。

○LSA福祉講座

住み慣れた地域での生活が継続できるよう年2回、LSA室と協働で市営住宅住民に対して勉強会を開催。

○ボランティア講座

地域住民を対象とし、新たなボランティアの発掘や、ボランティアのスキルアップ、交流の場としての講座を開催する。

○クラシックいぶき

市営西神南住宅集会所で定期的に行っているうたごえ喫茶とは異なり、クラシック音楽を身近に楽しんでもらい、住民の交流の場として年2回市営西神井吹台住宅集会所にて開催。

○うたごえ喫茶

カラオケではなく昭和40年代に流行した「歌声喫茶」をイメージし、参加者が皆で歌えるよう、出演ボランティア「クローバーミュージック」「ひまわり会」に依頼。地域の行事として好評を得ており、本年度も市営西神南住宅にて年間10回の開催を行う。

○リハビリ体操

西神南住宅集会所にて月1回リハビリ体操を開催。住民の介護予防を図るとともに、集える場としても開催継続して行く。

○甘味処

西神南住宅集会所にて、住民ボランティアを中心とした集い場づくりのバックアップを行っていく。

○練功十八法

ルゼフィール井吹台集会所にて新たに開催。住民主体で行っていくが、コミュニティサポート事業としてセンターとして円滑な開催に向けてバックアップを行う。

6. <<職員構成>>

管理者	主任介護支援専門員	保健師
1名（保健師兼務）	1名	1名
社会福祉士	地域支え合い推進員	見守り推進員
1名	1名	2名
介護支援専門員		
1名		